

【特集】 「世界中の研究者が東北に集結！」

10月28日～11月1日の5日間、ILCに関する国際学会「LCWS(リニアコライダーワークショップ)2019」が仙台国際センターにおいて開催されました。国内外の研究者ら約400人が集まり、ILCの技術向上などをテーマにした議論が行われました。



講演するジェフリー・テイラー議長

① ILC講演会

東北ILC推進協議会は11月1日、国際将来加速器委員会(ICFA)のジェフリー・テイラー議長と高エネルギー加速器研究機構(KEK)の山内正則機構長やまうち まさのりによる講演会を開催し、約200人が参加しました。

テイラー議長は、「ILCがもたらす地域の経済、産業の発展は重要で、東北が人類の知識、協力の恩恵を受ける国際的な中心地になる。ILCは欧州素粒子原子核機構(CERN)の大型ハドロン衝突型加速器(LHC)と相補的な役割を担う。日本の主導によるILCをICFAは強く奨励する。誘致の判断を待ち望んでいる」と述べました。山内機構長は、3月7日に日本政府の見解が示された以降の動きなどを説明しました。

※ICFAとは…素粒子物理学実験分野(高エネルギー物理学)の最も高いレベルの国際委員会。

② 地元の取り組みをPR

10月28日～29日の2日間、企業展示会が開催され、約60社の団体・企業が出展しました。市は、岩手県南・宮城県北の自治体と合同で出展し、海外の研究者に対し、地元の取り組みや観光などをPRしました。

※合同出展自治体(一関市、大船渡市、陸前高田市、奥州市、平泉町、住田町、気仙沼市、登米市、栗原市、大崎市)



当市をはじめとする地元のお菓子を研究者の皆さんへ提供しました



多くの人で賑わう企業展示会



海外研究者へ英語でPR

CONTENTS

- ★ 特集 世界中の研究者が東北に集結！
- ★ Q&Aコーナー
- ★ ピックアップニュース
- ★ Bell'sコーナー
- ★ ニュースクリッピング
- ★ What brought you to Ichinoseki?



ILC講演会の様子



ピックアップニュース

▶ 第2回いちのせきサイエンスカフェ



今年度2回目となる「いちのせきサイエンスカフェ」を9月7日、一関図書館を会場に開催しました。

一関工業高等専門学校との初コラボレーション企画として実施したもので、参加者は3Dプリンターを使ったアクセサリ作製やILCミニ講演会（講師藤崎聡美氏）を通じ、一関高専の学生さん等と交流しました。

▶ 一関高専で特別講演会



（一社）国際経済政策調査会による「先端科学特別講演会」は10月3日、一関工業高等専門学校を会場に開催されました。

東京大学素粒子物理研究センター特任教授の山下了氏が「宇宙の謎を解く最先端科学技術」をテーマに講演しました。

▶ 第3回いちのせきサイエンスカフェ



今年度3回目となる「いちのせきサイエンスカフェ」を9月21日、大東図書館を会場に開催しました。広島大学大学院教授の栗木雅夫氏が「ILCでおこる本当のビッグバン—科学、社会、経済—」をテーマに講演し、参加者と意見交換を行いました。

▶ 中学生ILC特別授業



市では、市内の中学校を対象とした「ILC特別授業」を実施しています。10月・11月には、高エネルギー加速器研究機構（KEK）素粒子原子核研究所研究員の倉田正和氏を講師に、5校（千厩中、室根中、舞川中、藤沢中、磐井中）において講演や霧箱実験を行いました。



市では、自治会や各種団体などが主催するILC勉強会・講演会に講師を派遣します。市職員が講師としてお伺いするほか、実施内容に応じて研究者や県のILCキャラバンの派遣についてアドバイスを行っています。

ILC解説セミナーの開催について

東北ILC準備室では、ILCに関する最新動向や住民の皆様のILCに関する関心事項について解説するため、標記セミナーを次のとおり開催します。事前にご質問がある場合は、問合せ先までご連絡ください。

- 日時 ▶ 令和元年12月22日（日）14時30分～16時00分
- 場所 ▶ 室根曲ろくふれあいセンター（室根支所隣接）
- 主催 ▶ 東北ILC準備室、高エネルギー加速器研究機構（KEK）
- 共催 ▶ 岩手県、一関市ほか

問合せ先 東北ILC準備室事務局（岩手県ILC推進局事業推進課）
TEL 019-651-3111 FAX 019-629-5339

ニュースクリッピング

KEKが経費分担の在り方を公表

10月2日、高エネルギー加速器研究機構（KEK）は、ILC計画の国際分担などについて協議してきた国際ワーキンググループでの議論に基づいた「ILCプロジェクト実施に関する提言」を公表しました。この提言書は文部科学省に提供済みで、今後のILC実現に向けた各国等との議論の参考になるものです。

ILC解説セミナーを開催

東北ILC準備室とKEKは10月5日、川崎農村環境改善センターを会場にILC解説セミナーを開催し、約80人が参加しました。

ILCに関する最新の動向や住民の皆さんのILCに関する関心事項について解説しました。

ILCサポーターズ再始動



10月15日、東京で「ILCサポーターズ決起集会」が開催されました。発起人おしいまもるで映画監督の押井守氏は「大きい夢を実現し、次世代に残してあげたい」と述べました。サポーターズは昨年4月に発足し、現在は著名人サポーター61人と一般サポーターおよそ32万人が参加しています。

高校生チャレンジコンテストを開催



10月26日、岩手県は、県内の高校生を対象に物理、化学、工学分野で研究成果を競う「いわての高校生サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト for ILC」を開催しました。県内の4校6チームが研究成果を発表し、盛岡第一高等学校が最高賞の知事賞を受賞しました。

ICFA議長による現地視察

11月3日、ICFA議長であるジェフリー・テイラー氏は建設候補地である大東町大原を現地視察しました。テイラー氏は「とても自然が美しい。地質の条件がILCに最適だと確認できた」と述べました。



Q&A

コーナー

市民の皆さんから寄せられた質問等にお答えするコーナーです。



Q 動植物には影響はないのですか。



A 建設準備段階において、環境アセスメント調査を充分に行い、影響を最小限に抑えるとともに、重大な影響があると認められた場合には、十分な対策を行います。なお、これまでにILCトンネル計画ルート周辺の自然環境調査を実施し、環境影響評価方法書検討案を策定しています。



Q 景観への影響はないのですか。



A ILCでは、里山の景観を生かしたキャンパスとするなど、自然と共生した施設とし、地域の声を反映させながらデザインを進めます

■ ILCの主要施設は地下にあります。地上施設には、研究所施設、アクセストンネル坑口地上施設、周辺の実験準備施設があります。

■ 地上施設には、景観とともに工事による地滑り等の災害を誘発しないよう、坑口の形状設計や安全対策、防水対策、避難誘導設備や防災情報システムの整備について検討していきます。

■ CERN（欧州素粒子原子核機構）の取り組みの例

- ・ 騒音を減らし、構造物を隠すために木を植え、建物や冷却塔をできるだけ低く設計
- ・ 5年間育てた苗木をアクセスエリアに移植し、地表の建物と景観を調和

（ILC解説セミナー配布資料より）



国際化推進員のベル・あいみです。
ここでは、私の仕事内容や生活していて
気づいたことなどを紹介していきます。

一関・平泉ごみ分別アプリ Ichinoseki/Hiraizumi Garbage Sorting Application

スマートフォンやタブレットで使えるこのアプリは、地域ごとに表示するごみ収集カレンダー、ごみ分別辞典（品目検索によりごみの出し方を確認）などの機能があり、ごみ出しのルールやタイミングがとてもわかりやすくなりました。

ディスプレイはシンプルで記号が多く使われているうえ、日本語と英語のオプションがありますので、幅広く市民の皆さんに利用いただけます。ぜひ、ご利用ください！



iphone



Android



If you are like me, you may have a collection of garbage in your house which you have no clue of how to dispose of, or perhaps sorted bags of trash just sitting there because you were unaware of the collection day! Thankfully, there's now an application to download on your smartphone or tablet which can instruct on disposal methods of individual items, alert you when collection days are (for every category of trash) and clearly display the monthly disposal calendar. Best of all, it's free and available in English too!

What brought you to Ichinoseki?



一関でこんなことをしています

すずき なおみ

鈴木 菜生実さん 韓国出身 (46)

プロフィール

- 職業 韓国語講師
- 趣味 料理、陶芸
- 好きな場所 家（と家の周りの景色）
- 好きな食べ物 辛い物
- 好きなイベント 厳美地域の「むかさり行列」
（日本の伝統的なイベントが大好き!）

結婚を機に花泉に住んであっという間に13年が経ちました。日本に住むようになったおかげで、チャレンジ精神が生まれました。白山姫神社に嫁ぎ、様々な神事を手伝うことにより、日本の素晴らしい伝統行事を知ることができました。もっと神社の仕事を学んでいきたいと思えます。また、今まで当たり前だと思っていたことが、当たり前ではなくなり、自国のことをもっと深く知り、さらに違う視点から考えることができるようになりました。現在、韓国語講座、料理教室、国際交流イベント（異国の文化イベント）、翻訳などの仕事をしています。物作りが好きで、陶芸を始めました。木工にも挑戦してみたいと思っています。今後の目標は、仲間と共に料理ビジネスを立ち上げ、成功させることです。



発行 岩手県一関市
編集 市長公室 ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-8315 FAX 0191-21-2164
URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>
E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

専用ホームページ、SNSで情報を発信中!



一関市国際リニアコライダー推進ホームページ
ILCニュースWEB
International Linear Collider

くわしくはこちらで検索!

一関市 ILC 検索

Facebook
Twitterでも発信中!

